SMAM・バランスファンドVL50＜適格機関投資家限定＞

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合　　

●ファンドの特色

・主な投資対象
「国内株式インデックス・マザーファンド（B号）」、「国内債券パッシブ・マザーファンド」、
「外国株式インデックス・マザーファンド」、「外国債券パッシブ・マザーファンド」（以下「マザーファンド」と
いいます）の受益証券
・目標とする運用成果
4つのマザーファンドに分散投資することにより、信託財産の着実な成長を目指します。

● 基準価額および純資産総額

	3月31日	前月比
基準価額（円）	22,242	-212
純資産総額（百万円）	1,363	-32

※ 基準価額は1万口当りに換算した価額です。

● 騰落率

	基準日	騰落率
1ヵ月	2025.2.28	-0.94%
3ヵ月	2024.12.30	-3.99%
6ヵ月	2024.9.30	-0.16%
1年	2024.3.29	-0.96%
3年	2022.3.31	19.43%
設定来	2005.12.15	122.42%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。
※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

● 基準価額の推移

（ファンド設定日　2005.12.15 ）

■ 基準価額は、信託報酬控除後です。当ファンドの信託報酬は年率0.308%（税抜き0.28%）です。
■ 上記ｸﾞﾗﾌは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 資産構成

	比率	基本資産配分
国内株式インデックス・マザーファンド(B号)	29.9%	30%
外国株式インデックス・マザーファンド	19.0%	20%
株式合計	48.9%	50%
国内債券パッシブ・マザーファンド	40.3%	40%
外国債券パッシブ・マザーファンド	10.2%	10%
債券合計	50.5%	50%
現預金等	0.6%	-
合　計	100.0%	100%

★大樹生命からのお知らせ
〇当資料は、大樹生命の変額商品において投資対象としている投資信託の運用状況に関するものです。したがいまして、特別勘定のユニット価格等につきましては「特別勘定の運用概況」をご覧ください。また、ご契約者さまご自身のご契約内容につきましては、年4回郵送される「ご契約内容のお知らせ」をご覧ください。〇当資料の運用実績に関する内容はすべて過去の実績を示すものであり、将来の運用実績を保証もしくは予想するものではありません。〇当資料は、大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DSアセットマネジメント株式会社が、当投資信託の運用報告として大樹生命宛に作成したものをもとに大樹生命が提供するものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。〇当投資信託は、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、お客さまが当投資信託を購入・保有するということではありません。〇他の特別勘定から当投資信託を主な投資対象とする特別勘定への積立金の移転をご検討される場合は、当社商品パンフレット、特別勘定のしおり、ご契約のしおり-約款等を必ずご覧ください。

■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■当ファンドは、直接またはマザーファンド受益証券を通じて、株式等値動きのある証券（外国証券には為替リスクもあります）に投資しますので基準価額は変動致します。■投資信託は、元本や利回りが保証されているものではありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスク（価格変動リスク、為替リスク、信用リスク等）は、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。

三井住友DSアセットマネジメント

作成基準日： 2025年3月31日

【国内株式 ： 国内株式インデックス・マザーファンド（B号）】

●ファンドの特色

・主な投資対象
　わが国の株式
・ベンチマーク
　TOPIX（東証株価指数、配当込み）
・目標とする運用成果
　ベンチマークに連動する運用成果を目指します。

● 基準価額および純資産総額

	3月31日	前月比
基準価額（円）	48,534	112
純資産総額（百万円）	358,130	3,430

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

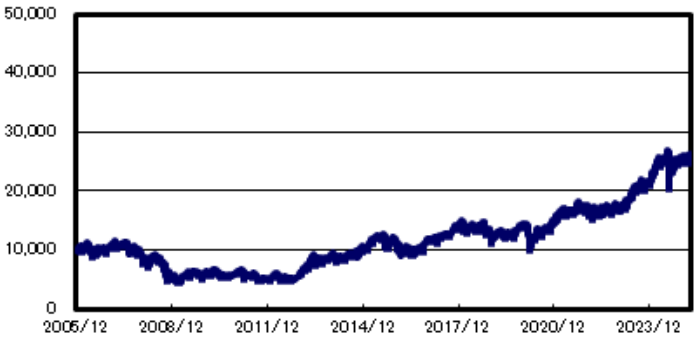
● 騰落率

	基準日	ファンド	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ(＊)
1ヵ月	2025.2.28	0.23%	0.22%
3ヵ月	2024.12.30	-3.44%	-3.44%
6ヵ月	2024.9.30	1.81%	1.81%
1年	2024.3.29	-1.53%	-1.55%
3年	2022.3.31	47.32%	47.24%
設定来	2005.12.15	151.26%	149.85%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
※“設定来”の騰落率は、「SMAMバランスファンドVL50」設定日前日を基準としております。

● 基準価額の推移

（ファンド設定日 2003.2.17 ）



■ 基準価額は、2005.12.14を10000として指数化しております。
■ 上記ｸﾞﾗﾌは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
＊当ファンドはTOPIX(東証株価指数、配当込み)をベンチマークとします。
TOPIXは、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）が公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はJPXに帰属します。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

● 資産構成 ※1

	3月31日
株式	98.0 %
先物等	1.9 %
現預金等	0.1 %
合　計	100.0 %

● 上位組入業種 ※2

	業種名	比率
1	電気機器	17.4 %
2	銀行業	9.5 %
3	情報・通信業	7.6 %
4	輸送用機器	7.2 %
5	卸売業	6.7 %
6	機械	5.6 %
7	化学	4.9 %
8	サービス業	4.6 %
9	小売業	4.5 %
10	医薬品	4.2 %
	その他	27.8 %
	合　計	100.0 %

● 上位組入銘柄 ※1

（組入全銘柄数 1,642 ）

	銘柄名	比率
1	トヨタ自動車	3.6 %
2	ソニーグループ	3.4 %
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.3 %
4	日立製作所	2.3 %
5	三井住友フィナンシャルグループ	2.0 %
6	任天堂	1.7 %
7	リクルートホールディングス	1.6 %
8	キーエンス	1.5 %
9	東京海上ホールディングス	1.4 %
10	みずほフィナンシャルグループ	1.4 %
	その他	75.9 %
	合　計	98.0 %

※1 ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ純資産総額対比
※2 ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ現物株式評価額対比

● ファンドマネージャーコメント（国内株式）

国内の株式市場は前月末と比較して概ね横ばいとなりました。
上旬は、米トランプ政権の関税政策に対する過度な警戒は後退したものの、米ハイテク株安や米ドル安・円高進行が上値を抑え一進一退の展開となりました。中旬は、賃上げによる国内景気下支え期待、米ドル高・円安転換、米著名投資家が日本株を買い増しとの報道などを支えに上昇しました。その後、日米の金融政策決定会合は波乱なく通過したものの、米政権の関税引き上げに対する警戒や米景気後退懸念の広がりなどを背景に、月末に下落しました。
業種別では、鉱業、保険業、不動産業などが市場をアウトパフォームした一方、サービス業、その他製品、証券・商品先物取引業などがアンダーパフォームしました。

＜運用経過＞
最適化法によるパッシブ運用を継続しました。

★大樹生命からのお知らせ
〇当資料は、大樹生命の変額商品において投資対象としている投資信託の運用状況に関するものです。したがいまして、特別勘定のユニット価格等につきましては「特別勘定の運用概況」をご覧ください。また、ご契約者さまご自身のご契約内容につきましては、年4回郵送される「ご契約内容のお知らせ」をご覧ください。〇当資料の運用実績に関する内容はすべて過去の実績を示すものであり、将来の運用実績を保証もしくは予想するものではありません。〇当資料は、大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DSアセットマネジメント株式会社が、当投資信託の運用報告として大樹生命宛に作成したものをもとに大樹生命が提供するものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。〇当投資信託は、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、お客さまが当投資信託を購入・保有するということではありません。〇他の特別勘定から当投資信託を主な投資対象とする特別勘定への積立金の移転をご検討される場合は、当社商品パンフレット、特別勘定のしおり、ご契約のしおり-約款等を必ずご覧ください。

三井住友DSアセットマネジメント

作成基準日： 2025年3月31日

【国内債券 ： 国内債券パッシブ・マザーファンド 】

●ファンドの特色

・主な投資対象
　わが国の公社債および短期金融資産
・ベンチマーク
　NOMURA－BPI（総合）
・目標とする運用成果
　ベンチマークに連動する運用成果を目指します。

● 基準価額および純資産総額

	3月31日	前月比
基準価額（円）	11,563	-115
純資産総額（百万円）	127,720	-1,723

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

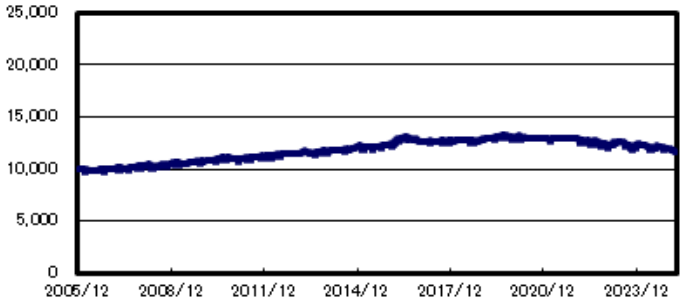
● 騰落率

	基準日	ファンド	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ(*)
1ヵ月	2025.2.28	-0.98%	-0.98%
3ヵ月	2024.12.30	-2.36%	-2.36%
6ヵ月	2024.9.30	-3.61%	-3.64%
1年	2024.3.29	-4.71%	-4.73%
3年	2022.3.31	-8.24%	-8.36%
設定来	2005.12.15	16.99%	16.91%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
※“設定来”の騰落率は、「SMAMバランスファンドVL50」設定日前日を基準としております。

● 基準価額の推移

（ファンド設定日 2005.6.10 ）



■ 基準価額は、2005.12.14を10000として指数化しております。
■ 上記ｸﾞﾗﾌは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
＊当ファンドはNOMURA－BPI(総合)をベンチマークとします。
NOMURA－BPI(総合)は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表する指数であり、NOMURA－BPI(総合)に関する一切の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属しております。また、同社は、ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

●資産構成 ※1

	3月31日
債券現物	99.6 %
先物等	0.0 %
現預金等	0.4 %
合　計	100.0 %
平均残存年数（年）	9.50
平均利回り	1.42%

● 満期構成 ※2

1年未満	2.6 %
1-3年	18.1 %
3-5年	17.6 %
5-7年	11.7 %
7-10年	16.9 %
10年以上	33.1 %
合　計	100.0 %

● 種別構成 ※2

国債	77.8 %
政府保証債	2.5 %
地方債	10.0 %
金融債	0.0 %
事業債	8.4 %
円建外債	0.0 %
その他	1.3 %
合　計	100.0 %

● 上位組入銘柄 ※1

（組入全銘柄数 438 ）

	銘柄名	比率
1	150 5年国債	1.8 %
2	156 5年国債	1.0 %
3	154 5年国債	0.9 %
4	375 10年国債	0.9 %
5	368 10年国債	0.9 %
6	367 10年国債	0.9 %
7	369 10年国債	0.9 %
8	366 10年国債	0.9 %
9	370 10年国債	0.9 %
10	376 10年国債	0.8 %
	その他	89.7 %
	合　計	99.6 %

※1 マザーファンド純資産総額対比
※2 マザーファンド債券評価額対比

● ファンドマネージャーコメント（国内債券）

国内の長期金利（10年国債利回り）は上昇しました。
上旬は、財政拡張懸念を背景にドイツ金利が大幅に上昇したことや、5年国債入札が不調な結果となったことから、国内金利は上昇基調で推移しました。中旬以降は、米国景気の減速が懸念されたことや国内で政治の不透明感が高まったことから、国内金利の上昇は一服し、一進一退の動きとなりました。日銀総裁が利上げ継続姿勢を示したことから、下旬にも金利上昇が進む局面がありました。しかし月末にかけては、米トランプ政権の関税政策推進姿勢を受けたリスク回避の動きが強まり株価が大幅に下落したことから、金利は上昇幅を縮小しました。

＜運用経過＞
運用方針の通り、層化抽出法（※）によりリスクを抑えたパッシブ運用を継続しました。
（※）残存期間構成、セクター構成、格付け構成等をベンチマーク構成比に合わせることにより、NOMURA-BPIとの連動を目指します。

★大樹生命からのお知らせ
〇当資料は、大樹生命の変額商品において投資対象としている投資信託の運用状況に関するものです。したがいまして、特別勘定のユニット価格等につきましては「特別勘定の運用概況」をご覧ください。また、ご契約者さまご自身のご契約内容につきましては、年4回郵送される「ご契約内容のお知らせ」をご覧ください。〇当資料の運用実績に関する内容はすべて過去の実績を示すものであり、将来の運用実績を保証もしくは予想するものではありません。〇当資料は、大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DSアセットマネジメント株式会社が、当投資信託の運用報告として大樹生命宛に作成したものをもとに大樹生命が提供するものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。〇当投資信託は、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、お客さまが当投資信託を購入・保有するということではありません。〇他の特別勘定から当投資信託を主な投資対象とする特別勘定への積立金の移転をご検討される場合は、当社商品パンフレット、特別勘定のしおり、ご契約のしおり-約款等を必ずご覧ください。

作成基準日： 2025年3月31日

【外国株式 ：外国株式インデックス・マザーファンド 】

●ファンドの特色

・主な投資対象
　日本を除く世界各国の株式
・ベンチマーク
　MSCIコクサイインデックス（配当込み、円ベース）
・目標とする運用成果
　ベンチマークに連動する運用成果を目指します。

● 基準価額および純資産総額

	3月31日	前月比
基準価額（円）	94,135	-3,503
純資産総額（百万円）	912,500	-26,869

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

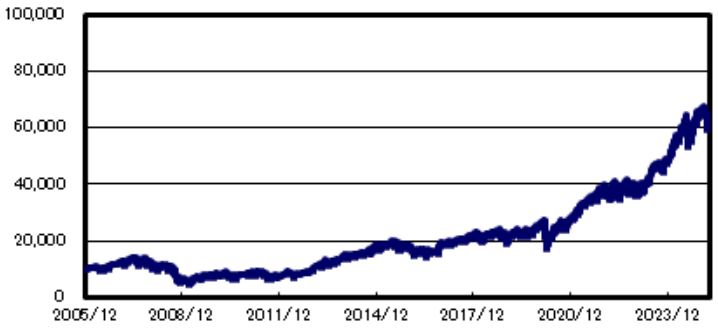
● 騰落率

	基準日	ファンド	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ(*)
1ヵ月	2025.2.28	-3.59%	-3.55%
3ヵ月	2024.12.30	-8.46%	-8.39%
6ヵ月	2024.9.30	3.06%	3.18%
1年	2024.3.29	6.51%	6.79%
3年	2022.3.31	51.70%	52.72%
設定来	2005.12.15	509.09%	528.82%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
※設定来の騰落率は、「SMAMバランスファンドVL50」設定日を基準としております。

● 基準価額の推移

（ファンド設定日 2003.5.19 ）



■ 基準価額は、2005.12.15を10000として指数化しております。
■ 上記ｸﾞﾗﾌは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
＊当ファンドはMSCIコクサイインデックス(配当込み、円ベース)をベンチマークとします。
MSCIコクサイインデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発・公表する指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

● 資産構成 ※1

	3月31日
株式	98.0 %
先物等	2.0 %
現預金等	0.0 %
合 計	100.0 %

● 国別組入比率※2

アメリカ	73.3 %
イギリス	3.9 %
カナダ	3.4 %
スイス	3.0 %
フランス	2.9 %
その他	13.6 %
合 計	100.0 %

● 上位組入銘柄 ※1

（組入全銘柄数 1,169 ）

	銘柄名	国名	業種	比率
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	5.0 %
2	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.1 %
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.1 %
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財･ｻｰﾋﾞｽ流通･小売り	2.8 %
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	1.9 %
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.4 %
7	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.2 %
8	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.2 %
9	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.1 %
10	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	アメリカ	金融ｻｰﾋﾞｽ	1.1 %
	その他			74.3 %
	合 計			98.0 %

※1 マザーファンド純資産総額対比、※2 マザーファンド株式評価額対比

● ファンドマネージャーコメント（外国株式）

米国株式市場は下落しました。トランプ大統領による外交政策や関税政策に市場は動揺しました。上旬に中国からの輸入品に対し、10%の追加関税を発動したほか、カナダとメキシコからの一部を除く輸入品に対しても、25%の関税賦課を発動するなど、強硬な政策を推し進めました。一方で景気指標は、ISM（全米供給管理協会）製造業景況指数や雇用統計など、景気の減速を示唆する指標が散見され、追加関税により想定される輸入物価の上昇とともに、景気後退が近づいているとの警戒感が広がりました。FOMC（米連邦公開市場委員会）では、事前の予想通りFFレートは据え置きとなり、早期の追加利下げ期待にもつながりませんでした。IT分野における米中間の分断懸念も続き、AI関連銘柄などテクノロジー関連銘柄の構成比率が大きいナスダック指数も下落する展開となりました。

欧州株式市場は下落しました。月初は、ドイツの財政出動期待などが下支え要因となったものの、米国の金融政策や関税政策に対して神経質な動きとなりました。月後半、米国で輸入自動車に追加関税を賦課する方針が示されると、欧州内外での景気不安も広がり、株式市場は下落しました。

（為替）米ドル/円は小幅に下落しました。上旬は、米景況感の悪化、トランプ大統領の円安けん制発言や日銀の早期追加利上げ観測を受けて、米ドル安・円高が進みました。その後は、投資家センチメント（心理）が改善したことから、緩やかな米ドル高・円安の展開となりました。

ユーロ/円は上昇しました。国防費増加観測、債務抑制策の緩和が景気を下支えするとの期待や欧州の金利上昇からユーロ高・円安の展開となりました。

＜運用経過＞

最適化法によるパッシブ運用を継続しました。

★大樹生命からのお知らせ
〇当資料は、大樹生命の変額商品において投資対象としている投資信託の運用状況に関するものです。したがいまして、特別勘定のユニット価格等につきましては「特別勘定の運用概況」をご覧ください。また、ご契約者さまご自身のご契約内容につきましては、年4回郵送される「ご契約内容のお知らせ」をご覧ください。〇当資料の運用実績に関する内容はすべて過去の実績を示すものであり、将来の運用実績を保証もしくは予想するものではありません。〇当資料は、大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DSアセットマネジメント株式会社が、当投資信託の運用報告として大樹生命宛に作成したものをもとに大樹生命が提供するものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。〇当投資信託は、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、お客さまが当投資信託を購入・保有するということではありません。〇他の特別勘定から当投資信託を主な投資対象とする特別勘定への積立金の移転をご検討される場合は、当社商品パンフレット、特別勘定のしおり、ご契約のしおり-約款等を必ずご覧ください。

作成基準日： 2025年3月31日

【外国債券 ： 外国債券パッシブ・マザーファンド 】

●ファンドの特色

・主な投資対象
　ベンチマーク採用国の国債
・ベンチマーク
　FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
・目標とする運用成果
　ベンチマークに連動する運用成果を目指します。

● 基準価額および純資産総額

	3月31日	前月比
基準価額（円）	23,054	245
純資産総額（百万円）	200,299	99

※基準価額は1万口当りに換算した価額です。

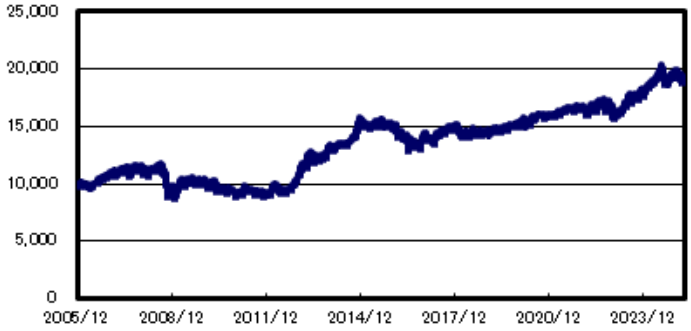
● 騰落率

	基準日	ファンド	ﾍﾞﾝﾁﾏｰｸ(*)
1ヵ月	2025.2.28	1.07%	1.05%
3ヵ月	2024.12.30	-2.95%	-2.94%
6ヵ月	2024.9.30	2.11%	2.19%
1年	2024.3.29	1.88%	1.81%
3年	2022.3.31	15.84%	16.04%
設定来	2005.12.15	93.31%	95.34%

※上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。
※設定来の騰落率は、「SMAMバランスファンドVL50」設定日を基準としております。

● 基準価額の推移

（ファンド設定日 2003.12.18 ）



■ 基準価額は、2005.12.15を10000として指数化しております。
■ 上記ｸﾞﾗﾌは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
＊当ファンドはFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）をベンチマークとします。
FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCの開発した指数を当社が独自に円換算したものです。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

● 資産構成 ※1

	3月31日
債券	99.5 %
先物等	0.0 %
現預金等	0.5 %
合　計	100.0 %
平均残存年数（年）	8.12
平均利回り	3.51%

● 満期構成 ※2

1年未満	0.7 %
1-3年	28.8 %
3-5年	20.9 %
5-7年	13.5 %
7-10年	13.6 %
10年以上	22.5 %
合　計	100.0 %

● 通貨別構成 ※2

アメリカドル	47.3 %
ユーロ	29.6 %
中国元(オフショア)	11.2 %
イギリスポンド	5.3 %
カナダドル	2.0 %
その他	4.7 %
合　計	100.0 %

● 上位組入銘柄 ※1

（組入全銘柄数 863 ）

	銘柄	通貨	比率
1	US TREASURY N/B 1.625 05/15/26	アメリカドル	0.8 %
2	CHINA GOVERNMENT BOND 2.39 11/15/26	中国元(オフショア)	0.8 %
3	CHINA GOVERNMENT BOND 2.04 02/25/27	中国元(オフショア)	0.7 %
4	US TREASURY N/B 4.875 04/30/26	アメリカドル	0.6 %
5	CHINA GOVERNMENT BOND 3.72 04/12/51	中国元(オフショア)	0.6 %
6	US TREASURY N/B 2.25 03/31/26	アメリカドル	0.6 %
7	CHINA GOVERNMENT BOND 2.69 08/12/26	中国元(オフショア)	0.5 %
8	US TREASURY N/B 3.875 08/15/34	アメリカドル	0.5 %
9	US TREASURY N/B 4.25 11/15/34	アメリカドル	0.5 %
10	CHINA GOVERNMENT BOND 2.11 08/25/34	中国元(オフショア)	0.5 %
	その他		93.4 %
	合計		99.5 %

※1 マザーファンド純資産総額対比
※2 マザーファンド現物債券評価額対比

● ファンドマネージャーコメント（外国債券）

米国では、長期金利（10年国債利回り）は上下動を繰り返したものの、前月末と同水準で終了しました。月初は、ISM（全米供給管理協会）製造業景況指数が市場予想を下回ったことから、金利は低下しました。しかし、ISM非製造業景況指数が市場予想を上回ったことなどから、金利は上昇しました。その後、景気の減速が懸念される一方、先行きのインフレ懸念が高まったことから、もみ合いの展開となりました。FOMC（米連邦公開市場委員会）では予想通り金融政策は据え置きとなりましたが、月末にかけて景気減速懸念が高まり、金利は低下しました。

ユーロ圏では、長期金利（ドイツ10年国債利回り）は上昇しました。月前半、国防費増加による国債増発懸念、債務抑制策の緩和や特別基金の創設方針を受けて、金利は大幅に上昇しました。ECB（欧州中央銀行）は予想通り利下げを実施しましたが、影響は限定的でした。月末にかけては米金利の低下に追随し、金利は上昇幅を縮小しました。

（為替）米ドル/円は小幅に下落しました。上旬は、米景況感の悪化、トランプ大統領の円安けん制発言や日銀の早期追加利上げ観測を受けて、米ドル安・円高が進みました。その後は、投資家センチメント（心理）が改善したことから、緩やかな米ドル高・円安の展開となりました。

ユーロ/円は上昇しました。国防費増加観測、債務抑制策の緩和が景気を下支えするとの期待や欧州の金利上昇からユーロ高・円安の展開となりました。

＜運用経過＞

運用方針の通り、リスクを抑えたパッシブ運用を継続しました。

★大樹生命からのお知らせ
〇当資料は、大樹生命の変額商品において投資対象としている投資信託の運用状況に関するものです。したがいまして、特別勘定のユニット価格等につきましては「特別勘定の運用概況」をご覧ください。また、ご契約者さまご自身のご契約内容につきましては、年4回郵送される「ご契約内容のお知らせ」をご覧ください。〇当資料の運用実績に関する内容はすべて過去の実績を示すものであり、将来の運用実績を保証もしくは予想するものではありません。〇当資料は、大樹生命の変額商品において投資対象としている当投資信託を運用する三井住友DSアセットマネジメント株式会社が、当投資信託の運用報告として大樹生命宛に作成したものをもとに大樹生命が提供するものであり、大樹生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。〇当投資信託は、大樹生命の変額商品において投資対象としているものであり、お客さまが当投資信託を購入・保有するということではありません。〇他の特別勘定から当投資信託を主な投資対象とする特別勘定への積立金の移転をご検討される場合は、当社商品パンフレット、特別勘定のしおり、ご契約のしおり-約款等を必ずご覧ください。